



金婚者顕彰を受賞された神夫妻（風合瀬）



米寿顕彰を受賞される近藤さん（岩崎上）

長年にわたり、様々な分野で活躍し、社会の発展に尽力された高齢者に対し、敬意を表する機会として「生きいき健康福祉祭」が9月17日、役場文化ホールにて開催されました。

今年は、ダイヤモンド婚（結婚60年）3組、金婚（結婚50年）2組、米寿90名が顕彰され、そのうち3組のご夫婦と22名が出席されました。

平沢町長は「日本海の海の幸や白神山地の自然とともに、町の真の宝は先人から受け継がれた「支え合いの心」。

生きいき健康福祉祭開催！

大切に育んでこられた「支え合いの心」を受け継ぎ、誰もが安心して暮らせる町づくりをしていきたい」とあいさつし、参加者一人ひとりに顕彰状を贈りました。

顕彰後には、津軽深浦北前太鼓「風の会」が「祝励」と「轟」2曲を披露し、出席者は迫力ある和太鼓の演奏を楽しみました。

※ダイヤモンド婚・金婚の顕彰はあらかじめ本人から申告のあった方のみ対象としています。



パネルディスカッションの様子



風力発電施設の前で記念撮影

8月25日、26日の2日間、立教大学に今年度新設された環境学部23人が本町を訪れ、環境課題に対する多角的な視点・視座を学ぶ「環境フィールドスタディ」が開催されました。今回の訪問は、町内で風力発電事業を展開する㈱グリーンパワーインベストメントとの繋がりをきっかけに実現したものです。

初日はグリーンパワー深浦風力発電所を見学し、発電設備や環境への配慮、地域貢献策について社員の皆さんと意見交流を行い、2日目は深浦町役場にて「地域と産業」、「地域と人」、「地域と自然」をテーマにパネルディスカッション等を実施しました。本町の豊富

立教大学環境学部が「環境フィールドスタディ」で訪問しました！

な森林資源を活かす「トータル林業まちづくり構想（林業振興×地域振興）」や風力発電との連携（風力×林業）について熱い議論が交わされました。

参加した学生からは「現場での対話を通じ、地域の繋がりの強さや深浦の魅力を実感した」、「環境保全と地域振興の両立、合意形成の大切さを学べた」、「内的価値観（地元の人を感じる価値）と外的価値観（外部の人が感じる価値）をどのように両立させ外部に発信するのか？」などの感想や質問が寄せられました。若い世代の新鮮な視点は、本町の価値や未来を再発見する貴重な機会となりました。

アオーネ白神十二湖クラフト展 & 熱気球搭乗体験開催



9月26・27日の2日間、アオーネ白神十二湖においてクラフト展と熱気球搭乗体験が開催されました。

県内外から34組のクラフト作家が集結し、木工、革細工などジャンルを問わない多彩な作品が並び、来場者は気に入った作品を手に取り、作家との会話や交流を楽しみながら買い求めていました。会場を訪れた人からは「いい帽子が見つかった。お出かけ用のカバンが見つかった」、「会場の雰囲気がいい。来年もまた来たい」と嬉しそうに感想を述べていました。

早朝に開催された熱気球搭乗体験では、2日間とも無風で快晴という最高の条件が揃い、総勢50人ほどが搭乗。地上約20〜30mを約10分間気球で浮遊し、朝日に映える白神山地や日本海の眺めを満喫しました。

また、好条件だったことから、気球を横にして内側に入ることができ「気球ドーム」もあわせて実施。五所川原市から参加したカップルは「早起きして参加してよかった。いつの間にか気球が上がっていてビックリ」と興奮した様子で感想を述べていました。

